

究極の救急医療

～離島へき地医療～



講師：齋藤 学 氏
合同会社グネプロ代表

～プロフィール～

1974年千葉県生まれ。2000年順天堂大学医学部卒業。救急専門医、プライマリケア連合学会指導医。救急医として沖縄県浦添総合病院で勤務した後、真の総合診療である離島医療に従事。生半可な技術では離島には通用しないと、再修業の後、2015年合同会社グネプロを設立、代表に就任する。世界トップレベルのへき地医療を展開するオーストラリアとタッグを組み、日本初の試みである『日本版離島へき地プログラム』を2017年4月からスタートさせた。

2017年4月、日本の離島の病院に勤務しながら、内科、外科、救急科、麻酔科、小児科、産科の6科を同時に研修できる教育プログラム「日本版離島へき地プログラム：Rural Generalist Program Japan」が始動しました。このプログラムは、約10年沖縄県や鹿児島県で救急医として活動してきた齋藤先生の熱い想いで、豪州のへき地医療学会の協力のもと実現に至りました。

齋藤先生が目指すのは、総合診療医の養成と、育った医師を求められる地域に輩出するネットワークづくり。稼働するネットワークでは一方通行の人材供給ではなく、医師が定期的に実力をブラッシュアップできる勤務地のローテーションまで実現しようとしています。

「実力」と「志」を兼ね備えた医師群による、応援診療等、離島へき地医療への強力なサポート体制を構築する意欲的な取り組みが始まりました。

夢が消えるのは、夢の実現をサポートする仕組みが足りないからだ

『職業としての医師を選んだ人々の多くは、子供のころ、あるいは学生時代に、一度はへき地医療や発展途上国での国際貢献に憧れたのではないだろうか。時を経て、病院勤務の日常の中で、そんな夢を見ていた時代もあったなあと懐かしんだり、なぜ理想の追求にこだわらなかったのだろうと後悔したり——本人が恥じることなど寸分もないが、そういった純粋な志があまりに砕け散り過ぎてはいないか。もう少し、夢の実現をサポートする仕組みがあってもいいのではないかと真剣に考えたことから始まった取り組みです。』

日時：2017年**7月28日(金)** 19:00～20:00(18:30開場)

会場：**健康づくりサポートセンター(あいれふ)10階講堂**
福岡市中央区舞鶴2丁目5-1

座長：**中村 吉孝**(福岡市救急病院協会副会長／福岡輝栄会病院 院長)

定員：**120名**(申し込み多数の場合は、調整させていただく場合がございます)

対象者：**医師・看護師・救急隊員等**

参加費：**無料**(本講演会は、市医師会により単位認定された学術講演会です)

※日医生涯教育講座1単位、カリキュラムコード「1：医師のプロフェッショナリズム」「12：地域医療」

申込方法：裏面参加申込書によりFAXまたは郵送にて救急病院協会事務局までお申し込みください。

主催：福岡市救急病院協会 TEL：092-722-1278 FAX：092-791-2994

※お問い合わせは、福岡市救急病院協会事務局まで

共催：福岡市医師会 福岡市消防局

福岡市救急病院協会 講演会 参加申込書

職 種	氏 名

※頂きました個人情報は、本講演会運用のために使用し、他に使用することはありません。

※申し込み多数の場合は、調整させていただく場合がございます。

申込期限 平成29年7月21日(金)

平成29年 月 日

施設名：

担当者：

【お問い合わせ・参加申し込み先】

福岡市救急病院協会事務局

〒810-8521 福岡市中央区舞鶴3丁目9-7

TEL：092-722-1278

FAX：092-791-2994

担当：永野・高倉